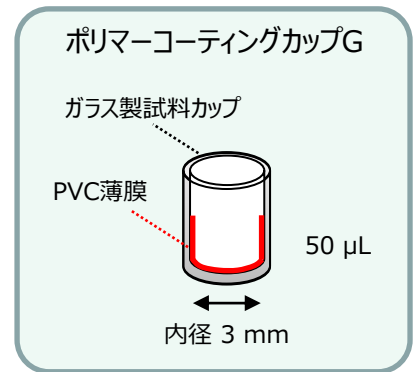


## フタル酸エステル化合物分析用 『ポリマーコーティングカップG』

ポリマーコーティングカップGは、硬質ガラス製試料カップの内壁にPVC薄膜をコーティングした製品です。フタル酸エステル試料溶液を採取するとき、内壁のPVC薄膜にDMPやDEPなどの低沸点フタル酸エステル類を保持させることができます。これにより、試料採取後から分析までの時間内で生じる低沸点成分の揮散を抑制します。また、サンプリング後の静置時間が長い場合でも利用でき、オートショット・サンプラーでの使用ができます。なお、本製品は使い捨てです。

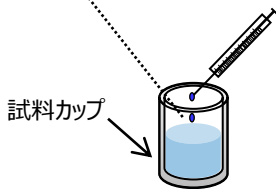
### 特長

- 低沸点フタル酸エステル化合物を対象とした熱脱着 GC/MSでオートショット・サンプラーが使用できます。
- フタル酸標準溶液を添加するだけで、直ぐに使用できます。

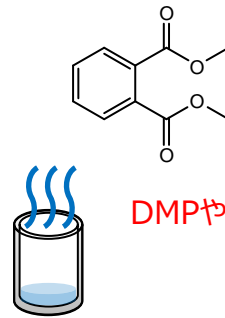


#### <これまでの問題点>

フタル酸エステル化合物標準溶液  
(DMPやDEPを含む)



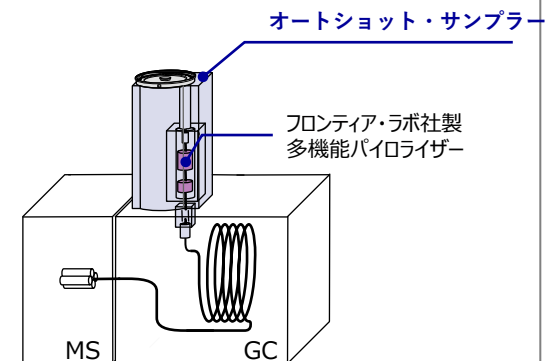
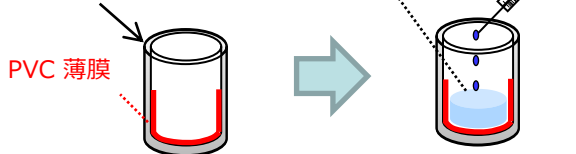
室温で放置



#### <本製品の使用例>

フタル酸エステル化合物標準溶液  
(DMP、DEPを含む)

ポリマーコーティングカップ G



オートショット・サンプラーを搭載した  
多機能パイロライザーとGC/MSの構成図

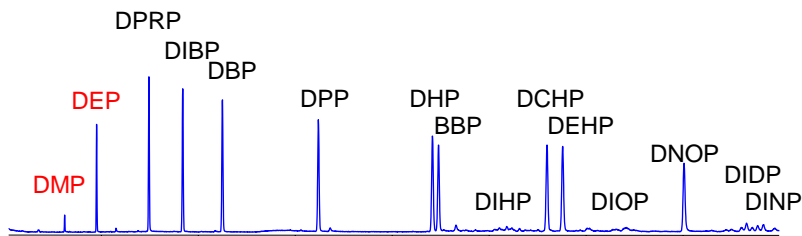
- 1) 本製品を準備します。
- 2) フタル酸エステル化合物標準溶液を添加します。
- 3) 試料採取したカップをオートショット・サンプラーにセットして、熱脱着測定を行います。

## <室温における15種類のフタル酸エステル化合物の保持効果>

揮発性の高いDMPやDEPをはじめとする下表のフタル酸エステル化合物各 100 ngを含む標準溶液を、未処理の試料カップと本製品に採取し、室温にて200 分間静置した後に熱脱着GC/MS測定した結果を下図に示します。本製品を用いた場合は、試料採取後 200 分経過しても、これらの成分が保持されていることが確認できます。

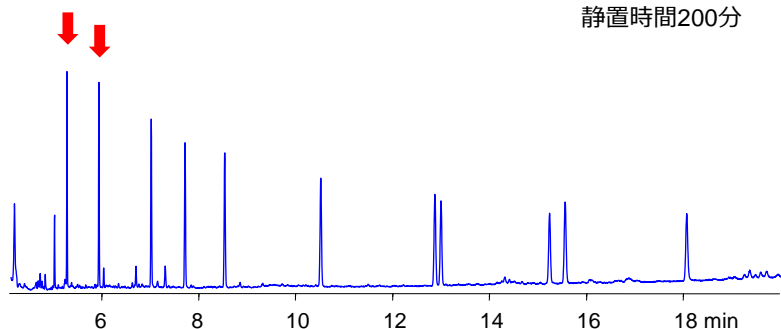
### 1) 未処理の試料カップ使用時

静置時間200分



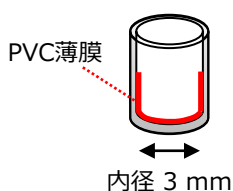
### 2) ポリマーコーティングカップG使用時

静置時間200分



化合物名	略称
1. Dimethyl phthalate	DMP
2. Diethyl phthalate	DEP
3. Di-n-propyl phthalate	DPRP
4. Diisobutyl phthalate	DIBP
5. Di-n-butyl phthalate	DBP
6. Di-n-pentyl phthalate	DPP
7. Di-n-hexyl phthalate	DHP
8. Butyl benzyl phthalate	BBP
9. Diisooheptyl phthalate	DIHP
10. Dicyclohexyl phthalate	DCHP
11. Di (2-ethylhexyl) phthalate	DEHP
12. Diisooctyl phthalate	DIOP
13. Di (n-octyl) phthalate	DNOP
14. Diisononyl phthalate	DINP
15. Diisodecyl phthalate	DIDP

## <ポリマーコーティングカップGの仕様>



容量：50  $\mu$ L

PVC膜厚：約2.4  $\mu$ m（約120  $\mu$ g）

材質：ガラス製（試料カップ）、PVC（薄膜）

最高使用温度：450 $^{\circ}$ C

その他：PVC中の可塑剤はソックスレー抽出で除去済

製品名	製品番号	内容
ポリマーコーティングカップG	PY1-EC50GP-01	10個入り（各バイアル入り、1セット）
ポリマーコーティングカップG 5セット	PY1-EC50GP-05	10個入り（各バイアル入り、5セット）

高性能の熱分解装置と金属キャピラリーカラムの開発・製品化に専念して、洗練された製品をお届けしております。



**フロンティア・ラボ株式会社**

〒963-8862 福島県郡山市菜根4-16-20  
TEL:(024) 935-5100 FAX:(024) 935-5102

[www.frontier-lab.com/jp](http://www.frontier-lab.com/jp)